

# 業界の声

情報連絡員

山梨県印刷工業組合

副理事長

笠井健夫氏



**業界の現状について教えて下さい。**

このところ、景気が上向きであるとの報道が多数されている関係で、漠然とした好景気への期待感があります。しかし、まだ光が見えるといった段階ではありません。

今年、業界のレベルアップを図るための人材確保推進事業の実施や、シンボルマークの募集によるPR事業の実施など、業界として取り

組む事業が多くなっています。

また、数年前から取り組んでいる行政に対する入札制度改善の要望も引き続き行っています。これは行政が印刷業をどのような業種として受け止めているかが問題になっており、現状では印刷業は物品納入業として扱われています。

**個人情報保護法の対策は？**

対応策としてプライバシーマーク制度の認定を検討している企業が増えています。これはISOの様な認定制度であり、個人情報に対する指導を強化する事により、お客様への信頼を得ようとするためのものですが、経費がかかることもあり、複数企業でまとめて指導及び認定を検討しているところではあります。

**今後業界はどのように変わっていくか？**

現状の印刷だけを行う業界ではなく、お客様にたいして企画、提案を

積極的に行い、付加価値の高い商品を作り出すことが必要だと考えています。過当競争によるつぶし合いを避ける意味でも、高くても納得のいただける商品づくりを目指しています。

**趣味は？**

読書、特に推理小説が好きで、暇を見つけては読んでいます。最近では貫井徳郎、乃南アサ、東野圭吾あたりが面白いですね。

また、体を動かす為にゴルフも時々行います。



山梨県印刷工業組合シンボルマーク

山梨県印刷工業組合